

大牟田市立みなと小学校

1 本校のESDの特徴

本校は 旧三里小学校94年と、旧三川小学校73年の歴史を受け継いで平成18年度開校した。本校区は、熊本県に隣接している。校区内には、有明海沿岸道路三池港IC及びJR鹿児島本線、国道208号・十三間道路、船津町道路、三川町道路が南北に走り、交通量がきわめて多い。地域の歴史は古く、本校で地域運動会が行われるなど、地域住民も本校に関心を持っている。旧三里小学校跡地には介護施設、また三川地区公民館も近くにあり、公民館の「出会いの文化祭」で4年生の児童が参加するなど交流も深い。

そのような環境の中、福祉、環境、地域の文化を中心にして、地域を大切にする心、問題解決学習や体験活動を積極的に取り入れている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- 1年「さあみんなのでかけよう」・自分と自分の周りの関係に気づいていく。……………生活科
2年「レッツゴー町たんけん」・地域の人やもの、行事に親しむ。……………生活科
3年「みなと校区じまん隊」・みなと校区にあるすばらしい施設を探り発信する。
「校区の祭りのすばらしさを発信しよう」・校区の人と一緒にみなと祭りのらんたん
作りに参加する。……………総合
4年「三池港のひみつを探ろう」・100年の歴史を誇る三池港を調べ発信する。……………総合
5年「三池港のすばらしさを発信しよう」・①大牟田市の干拓の歴史、三池港の役割、海上
保安庁の仕事など三池港関連施設を調べる、②パンフレット作り、③大牟田子ども
三池港ガイド本作り。……………総合
6年「大牟田の近代化遺産と九州の近代化遺産のつながりを調べよう」・修学旅行で行く長
崎と大牟田のつながりを調べ、発信する。……………総合
(関連) 国語「町の未来をえがこう」から大牟田の町の未来を世界遺産でデザインする。

3 特徴的な活動事例

<5年生 総合的な学習の時間 単元名「三池港の素晴らしさを発信しよう」>

(1) 単元目標

- 身近にある三池港関連施設について興味を持ち、その役割や歴史について課題を持つことができる。(課題設定の能力)
- 課題から、追求の見通しを持ち、インタビューや資料などの情報から、三池港について調べることができる。(問題解決の能力)
- 調べたことや収集した情報をもとに考えたことなどをまとめ、伝える相手に分かりやすく表現することができる。(学び方・考え方)
- 自分が調べたい課題を設定したり、三池港について意欲的に調べるとともに、表現方法を自ら工夫することができる。(主体的・創造的な態度)
- 大牟田に愛着を持ち、三池港の良さに気づくことができる。(自己の生き方)

(2) 実践の展開

①三池港関連施設について、調べたいことを決め、計画を立てる。(オリエンテーション)

- 4年生の学習を振り返り、世界遺産三池港の周りにどんなところがあるかを話し合い調べたいことを決め、計画を立てる。

②課題解決の見通しを持ち、追究する。

- 三池港・三池海水浴場に見学に行く準備をする。
 - ・写真で見たことや、調べたいことをもとに見学の計画を立てる。
- 実際に三池海水浴場に行き、どんなところか調査活動をする。
 - ・デジカメできちんと記録し、見学で感想を持ったことを元にもっと知りたいことを話し合う。
- 自分の課題について資料やインターネットで調べる。
- 調べたいことをまとめる。
- 追究してきたことをまとめ、パンフレットとしてまとめる。
 - ・パンフレットの内容を発表し合う。

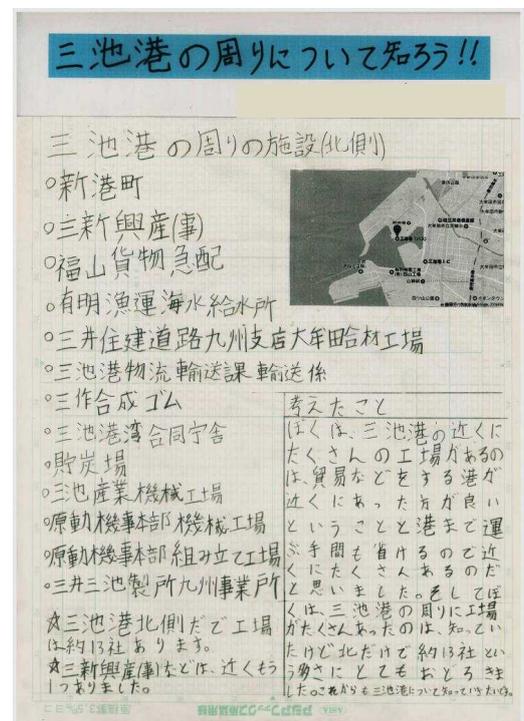


(3) 子どもたちの様子

4年生時に三池港こう門を見学し、実際に新聞としてまとめた経験を生かし、5年生では三池港周辺の施設や大牟田市民が大牟田で唯一海にふれあうことができる三池海水浴場に行った学習は驚きで、意欲が深まった。三池港の周辺に現在施設ができた理由や三池港が世界と実際につながっていることを実感した。地域にこんなに大きくて世界とつながっている港があることにさらに誇りを持つことができた。実際にできたパンフレットをユネスコスクール週間に掲示して発信した。

(4) 成果と課題

昨年度の4年生の取り組みを生かして学習することができた。本年度は時間や課題設定に余裕がなく、実際に三池港に足を運ぶことが1回しかできなかった。来年度はもっと計画的に活動を仕組む必要がある。海はいつも同じ状態ではなく干潮の時間を調べて学習活動を綿密に仕組む必要がある。また、地域の施設の資料が小学生向けに書かれてはいないので、説明資料をそろえるのに難しい面が多い。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・ユネスコスクールやESDに関して、職員の関心・理解が深まってきた。児童はきちんとした体験学習を重ねることで自分たちの身の回りの様々な施設により関心を持つことができた。
- ・学習を終えて三池港をさらに大切にして多くの人に知らせたいと考える子どもたちが増えた。

○課題

- ・地域素材の資料を子どもが理解できるように教材化しなければならない。